

## 技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	建設	部門
問題番号		選択科目	施工計画・施工設備及び積算	科目
答案使用枚数	1 枚目	専門とする事項		

○受験番号，答案使用枚数，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

I	- 13.	品質確保について	以下の問いに	答えよ。																
(1)		公共工事において品質を確保する	ために民間技	術																
		を活用した入札契約方式が導入	されている。	民間技																
		術を活用する入札契約方式を	2つ以上挙	げ、それぞ																
		れの特徴を概説せよ。また、	民間技術の	導入をさら																
		に促進するため工夫すべき事	項を挙げ、	その理由																
		についてあなたの意見を述べ	よ。																	
(2)		公共工事において品質を確保	するた	めには優	れた															
		技術者の確保が重要である。	優れた技	術者を確	保す															
		るために、入札契約手続きに	おいて改	善すべ	き事															
		を挙げ、その理由について	あなたの	意見を	述べ															

# 技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	建設	部門
問題番号		選択科目	施工計画・施工設備及び積算 科目	
答案使用枚数	2 枚目	専門とする事項		

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

1	<u>はじめに</u>																		
	社会資本整備をとりまく状況は非常に厳しく、次のような現状になっている。																		
	<u>① 公共事業の必要性に対する国民理解の低下</u>																		
	・ 「無駄なハコモノ」という認識の浸透、公共事業推進体制の硬直化による公共事業の必要性に対する国民不信の増大。																		
	・ 必要性について十分な説明がなされないことによる不信感増大。																		
	<u>② 国民の信頼を損なう事件等の発生</u>																		
	・ 耐震構造計算書偽造事件による技術者、品質確保体制への信頼の喪失。																		
	・ 橋梁談合・JH談合・知事の関与する官製談合などの多発による入札制度の不信。																		
	以上のような、現状により公共事業のコスト縮減・品質確保の対策を早急に実施する必要がある。																		
	2 - (1) <u>民間技術を活用する入札契約方式</u>																		
	a. <u>概説</u>																		
	<u>① 設計・施工一括発注方式</u>																		
	これまで、わが国では、設計・施工分離発注方式が採用されてきた。この方式は、施工開始前すなわち、設計終了段階に構造物の機能・性能が確認できるメリットがあった。しかし、民間の技術力やノウハウを活かせないデメリットもある。そこで、設計・施工一括発注方式を採用することで、受注者は企																		

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24字×25字

# 技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	建設	部門
問題番号		選択科目	施工計画・施工設備及び積算 科目	
答案使用枚数	3 枚目 枚中	専門とする事項		

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

	業	独	自	の	技	術	や	ノ	ウ	ハ	ウ	を	活	か	せ	る	設	計	が	で	き	、	設	
	計	途	中	で	も	工	事	を	進	め	る	こ	と	が	で	き	る	メ	リ	ツ	ト	も	あ	
	る																							
	発	注	者	に	と	っ	て	は	、	民	間	の	高	い	技	術	力	や	ノ	ウ	ハ	ウ		
	に	よ	っ	て	品	質	・	性	能	等	の	高	い	社	会	資	本	を	入	手	す	る	こ	
	と	が	で	き	る	メ	リ	ツ	ト	が	あ	る	。	ま	た	、	設	計	と	施	工	が	一	
	括	に	な	る	こ	と	に	よ	り	、	そ	の	構	造	物	の	品	質	・	機	能	等	に	
	つ	い	て	の	責	任	が	一	元	化	さ	れ	る	メ	リ	ツ	ト	も	あ	る	。			
	②	総	合	評	価	落	札	方	式															
	事	前	に	入	札	参	加	企	業	か	ら	、	技	術	提	案	(	簡	易	型	で	は		
	施	工	計	画	)	を	受	付	け	、	そ	の	技	術	提	案	の	評	価	と	入	札	価	
	格	を	総	合	的	に	評	価	す	る	方	式	で	あ	る	。	総	合	評	価	落	札	方	
	式	に	は	、	当	該	工	事	の	工	事	内	容	や	工	事	の	難	易	度	に	よ	り	
	簡	易	型	・	標	準	型	・	高	度	技	術	型	の	3	つ	に	分	け	ら	れ	る	。	
	評	価	さ	れ	る	範	囲	は	、	技	術	提	案	だ	け	で	は	な	く	、	企	業		
	の	実	積	、	配	置	予	定	技	術	者	の	実	積	等	も	含	ま	れ	る	。	こ	れ	
	に	よ	り	、	技	術	力	の	高	い	企	業	は	、	価	格	だ	け	で	は	な	く	企	
	業	独	自	の	技	術	力	を	活	か	し	た	提	案	に	よ	り	、	受	注	機	会	を	
	拡	大	す	る	こ	と	が	期	待	で	き	る	。	ま	た	、	発	注	者	に	と	っ	て	
	も	、	事	前	に	不	良	業	者	の	排	除	も	期	待	で	き	る	メ	リ	ツ	ト	も	
	あ	る	。																					
	b.	工	夫	す	べ	き	事	項																
	技	術	評	価	を	伴	う	入	札	方	式	は	、	企	業	の	提	案	を	厳	正	に		
	審	査	す	る	高	い	技	術	力	が	発	注	者	側	に	も	要	求	さ	れ	る	。		
	特	に	、	設	計	・	施	工	一	括	方	式	に	つ	い	て	は	、	受	注	者	の		

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

# 技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門	建設 部門
問題番号		選択科目	施工計画・施工設備及び積算 科目
答案使用枚数	4 枚目 枚中	専門とする事項	

○受験番号、答案使用枚数、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

	技 術 力 が 非 常 に 高 く 、 適 正 に 評 価 す る こ と が 難 し い
	場 合 も あ る 。 今 後 、 技 術 評 価 を 伴 う 入 札 制 度 を 拡 大
	し て い く に は 、 民 間 の 技 術 力 を 積 極 活 用 し た 発 注 者
	支 援 制 度 な ど の 活 用 に よ り 、 提 案 の 審 査 体 制 の 確 立
	が 急 務 で あ る 。 特 に V E 提 案 が 採 用 ま で 至 る 事 が ほ
	と ん ど 無 い 、 市 町 村 に あ っ て は 、 対 策 を 速 や か に 進
	め る 必 要 が あ る 。
2 - (1)	優 れ た 技 術 者 を 確 保 す る た め の 改 善 す べ き 事 項
	<u>① 受 注 者 の 技 術 者 の 確 保</u>
	優 れ た 技 術 者 を 確 保 す る た め に は 、 配 置 予 定 技 術
	者 の 技 術 力 に 応 じ た 加 点 の 拡 大 、 ま た 一 部 で す で に
	採 用 さ れ て い る 「 施 工 体 制 確 認 型 」 等 の 、 事 前 に 配
	置 技 術 者 の 技 術 力 や 品 質 管 理 体 制 が 確 保 さ れ る か を
	確 認 し 評 価 す る 方 式 の 採 用 を 拡 大 し て い く 必 要 が あ
	る 。 ま た 、 配 置 予 定 技 術 者 の C P D S 等 に 対 す る 加 点
	を 拡 大 す る こ と で 、 技 術 者 の 教 育 機 会 を 拡 大 す る こ
	と も 効 果 的 と 考 え る 。
	<u>② 発 注 者 の 技 術 者 確 保</u>
	前 に も 述 べ た が 、 企 業 の 技 術 提 案 を 伴 う 方 式 に つ
	い て は 、 そ の 提 案 を 厳 正 、 適 切 に 評 価 す る 高 い 技 術
	力 が 審 査 す る 側 に 求 め ら れ る 。
	よ っ て 、 民 間 活 力 を 積 極 活 用 し た 発 注 者 支 援 制 度
	等 を 活 用 し 、 優 れ た 技 術 者 を 確 保 す る こ と が 求 め ら
	れ て い る 。
	- 以 上 -

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。